

II 平成23年3月 東日本大震災への派遣

○3月11日14時46分、東北地方太平洋沖地震（最大震度7、マグニチュード9.0）が発生し、地震・津波災害により、東日本の太平洋沿岸をはじめ、広い地域で甚大な災害となった。

○本災害において、国土交通大臣の指示の下、震災発生の翌日には各地方整備局から約400名のTEC-FORCE隊員を現地に派遣。

○最大500名を超える隊員が、余震が続き、雪の積もる中で排水ポンプ車による排水活動、市町村リエゾンによる自治体支援、道路・堤防の被災状況の把握等を実施。



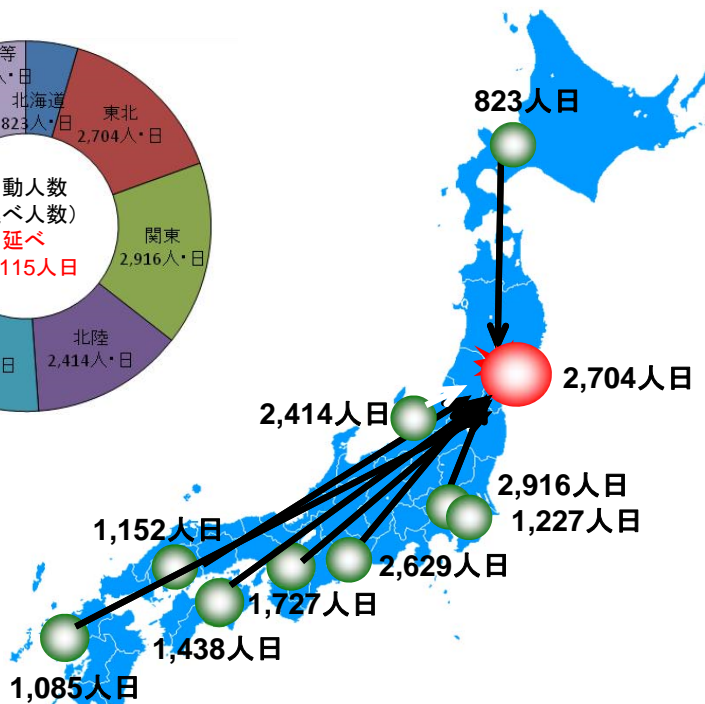
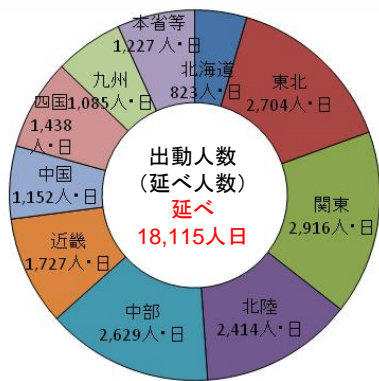
早急にヘリコプターを発進させ、貴重な映像等を入手



排水ポンプ車による行方不明者捜索活動の支援



市町村長の片腕となる職員を派遣し技術的支援を実施



衛星通信車による途絶した通信回線の確保



道路被災状況の把握



堤防被災状況の把握

- TEC-FORCE: のべ18,115人・日(3/11~11/21)
- 災害対策用機械(排水ポンプ車、衛星通信車等)
: 発災後1ヶ月間でのべ5,760台・日を派遣